

平成22年3月19日

国土交通省関東運輸局長 殿

申請者名 印西市地域公共交通活性化協議会
代表者名 会長 大 瀧 洋

平成22年度 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画
認定申請書

地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画の認定を下記のとおり申請します。

記

申請者	申請者名：印西市地域公共交通活性化協議会
	代表者名：会長 大 瀧 洋
	構成員： 印西市（2名）、公共交通事業者（3名）、市民代表（5名） 学識経験者（1名）、国職員（1名）、公安委員会（1名）
連絡先（事務局等）	所在地（都道府県名も記載）： 〒270-1396 千葉県印西市大森2364番地2 印西市役所内
	担当者名：企画財政部企画政策課交通政策室 飯島
	TEL：0476-42-5111
	FAX：0476-42-7242
	E-mail：kikakuka@ml.city.inzai.chiba.jp

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

【地域公共交通の充実・整備】

印西市における主な公共交通機関として、鉄道2路線、バス路線5路線、市が運行するコミュニティバスがある。

民間バス路線については、市民の重要な移動手段となっているが、一方で利用者数は年々減少傾向となっていることから、路線維持が難しくなっている。このような状況もあって、平成21年に、2路線が廃止された。

路線廃止の代替策のひとつに、コミュニティバスで対応しているが、コミュニティバスについては、市民要望の高まり等とともに、運行エリアや事業費は拡大し、行政負担は大きく膨らんでいる。

現在運行している市内路線バスについては、大半の路線の日中の運行本数が1時間に1本程度であることから、利便性向上が課題となっている。特に、市北部にある旧市街地と市南部にある千葉ニュータウン地域（新市街地）を結ぶ交通アクセスの向上が大きな課題となっている。

また、平成22年7月には、都心と成田空港を結ぶ成田スカイアクセスが開業する。

新たな鉄道路線が開通することにより、市内公共交通利用者の流れが変わることが予想され、印西市を取り巻く公共交通の変化に対応した地域公共交通のあり方の検討が求められる。

印西牧の原駅圏については、近年大型商業施設が立地し、年間1千万人以上の来訪者がある県下有数の商業地域となっているが、昨今のマイカー依存傾向で、印西牧の原駅圏における国道464号沿いは大型商業施設への来店者の自動車による交通渋滞問題も生じている。

その他の交通問題の検討として、タクシー事業の活性化、民間送迎バス等の活用がある。

印西市では、これら地域公共交通にかかる様々な課題を洗い出し、総合的かつ一体的な印西市地域公共交通総合連携計画を策定することが不可欠である。

【市町村合併による公共交通サービス】

印西市は、平成22年3月23日に、印旛村と本埜村と合併を予定している。

各市村の公共交通の現状、特にバス路線網を見てみると、印西市については、民間バス路線が5路線と市が運行するコミュニティバスがある。

印旛村は、バス路線が3路線、コミュニティバスは運行していない。本埜村については、バス路線が1路線、コミュニティバスは運行していない。このように、各市村における公共交通事情は様々である。

印旛村と本埜村におけるコミュニティバスについては、過去に両村とも採算性等の理由から廃止された経緯もあるが、広域化した新市域における地域公共交通の平準化が求められている。

このようなことから、新市における広域的かつ一体的な公共交通ネットワークの構築検討が急務となっている。

2. 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

印西市地域公共交通総合連携計画の策定にあたっては、地域特性調査、公共交通の実態、住民意向調査等を実施し、地域公共交通に関する課題を洗い出す。

洗い出された様々な課題を整理し、抜本的な解決策について検討を行い、総合的かつ一体的な印西市地域公共交通総合連携計画を策定する。

3. 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域特性の整理（地区人口、将来人口、公共施設等の配置） ② 既存公共交通の現状と利用実態、（サービス水準、利用者数、バスの事業収支等） ③ 駅等までの徒歩人口や自転車人口等、人の流動調査を行うとともに、バス交通のシェアや重要性を見極める。
需要調査	<p>地区が求めている交通サービスの形態や水準、需要等を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① バス利用者ヒアリング調査（ふれあいバス及び路線バス利用者を対象に実施。利用実態や要望等を調査） ② 住民アンケート調査（約 3,000 人対象。交通移動、要望、公共交通に対する行政負担に関する意見等を調査） ③ 新たな公共交通システムに対する住民ニーズを調査する
課題の整理	<p>全市及び地区別の公共交通に関する課題を整理する。（現行運行ルートの改善点、公共交通不便地域の抽出等）</p>
地域公共交通の充実・整備にかかる基本方針と目標等の検討	<p>本市の公共交通の将来像を検討するとともに、提供すべきサービス水準について検討する。また、地域公共交通の充実・整備に向けた具体的な施策を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域公共交通活性化の基本方針と目標の設定 ② 地域公共交通活性化方策の検討（地域特性を踏まえた路線バス・ふれあいバスの再編計画、利用促進策、地域の活性化支援策等） ③ 新公共交通システム導入の必要性と可能性検討（検討地域の設定、地域ごとの対応方策、需要と経費試算、実施方針等） ④ 事業計画の策定 ⑤ 事業評価の方法（PDCA サイクルの手順、評価基準の考え方等）
連携計画のとりまとめ等	<p>様々な調査、検討を踏まえ、連携計画のとりまとめ等を行う。</p>
連携計画の策定	<p>連携計画のとりまとめ等を行い、連携計画を策定する。</p>

4. スケジュール

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 (←→)、または横棒線 (——) で記載。

調査の名称	4月	6月	8月	10月	12月	3月
現状把握		——				
需要調査		——				
課題の整理			——			
基本方針と目標等の検討				——		
連携計画のとりまとめ等					——	
連携計画の策定						——

5. 予算計画

調査の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
現状調査	882千円	882千円	千円
需要調査	3,173千円	3,173千円	千円
課題の整理	671千円	671千円	千円
基本方針と目標等の検討	3,225千円	3,225千円	千円
計画のとりまとめ等	1,519千円	1,519千円	千円
連携計画の策定	530千円	530千円	
合計	10,000千円	10,000千円	千円